事業評価書目次(令和2年度)

[医療局] 介護保険事業費会計

	川	
款項目	評価書番号	事 業 名
1-3-2	1	在宅医療連携推進事業

令和2年度事業評価書

中期計画関連事業

		1款 3項 2	目						令和2年月	变	1 - 3 -
令和元年度					正答图	│ 所管区局•課		医療局	事業評価書	番号	1
	事業名	在宅医療	連携推進	事業	L) E	△问"牀	がん・疾病	対策課	政策番号	<u>1</u>	17
									主な施策(事業	()番号	1
		法令等 ■ 法	律 [□ 条例 □	〕規則	具体的	介護保険法、均	也域支援事業	. 業実施要綱、横濱	兵市在宅	2.医療連携拠点
	実施根拠 -	その他■				名称			宅療養連携推進協		
		中期計画 政策			地域で最	後まで安心	して暮らせる在	三宅医療・介	ア護連携等の推	進	
		施策(事	業)			在宅	医療提供体制	の充実・強	化		
事業概要	事業の目的 具体的な 事業内容	事業の目的 事業の目的 団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、地域の病床数に限りがあること、また、疾病を抱えても住み慣れた家等で療養したいという市民のニーズが高まっていることから、在宅医療と介護の連携が喫緊の課題となっている。在宅医療連携推進事業は、在宅医療・介護に携わる多職種間の連携を強化することで市民の在宅療養環境を整備することを目的としている。なお、在宅医療連携拠点事業は、在宅医療・介護連携推進事業として、平成27年4月より介護保険法の地域支援事業に位置づけられ、市町村業務として実施している。 (1)在宅医療連携拠点事業 地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護が切れ目なく、かつ効率的に提供されるよう、横浜市医師会と協働して在宅医療連携拠点を全区で運営した。 (2)在宅療養連携推進協議会 充実した在宅療養連携推進協議会 充実した在宅療養連携推進協議会 充実した在宅療養連携推進協議会を、年2回実施した。 (3)在宅療養移行支援事業 在宅医療・介護関係者が連携し、医療機関から在宅への円滑な移行を支援するため、「入院・退院サポートマップ」、「入院時・退院時情報共有シート」、「介護職のための看取り期の在宅療養サポートマップ」等のツールを活用し、在宅療養移行に携わる多職種の連携推進を図った。また、市内のケアマネジャーを対象とした退院調整に関する実態調査を実施した。 (4)在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修 在宅医療・介護に携わる多職種間の顔の見える関係を構築し、連携を推進することを目的とした「在宅におけるチーム医療を担う人材									
		及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1	目的とした 8区の区径	こ研修パッケー と所、在宅医療	ジの作成を行	テった。 また	、平成30年度に	作成した	もしも手帳」につ	ついて、	
		及啓発と人材育成を	目的とした 8区の区役 戦による対	に研修パッケー と所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい	ジの作成を行 相談室、地域	テった。 また 或ケアプラサ 月職から市日	、平成30年度に で配布を行う等	工作成した 学、供給シンシを支援する	もしも手帳」にてステムを構築した	ついて、 た。	医療機関・診療
		及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門耶	目的とした 8区の区名 戦による対 考え方をi	上研修パッケー 分所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい	ジの作成を行 相談室、地域	テった。また 或ケアプラサ 明職から市日 計画	、平成30年度はで配布を行う等	に作成した。 等、供給シン を支援する 令利	もしも手帳」にベステムを構築した る取組の検討を	ういて、 た。 行った。	医療機関・診療
	中期4か年計	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門駅 ACP(人生会議)の	目的とした 8区の区役 機による対 考え方をi 指 4	三研修パッケー と所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい 環 取り率	ジの作成を行 相談室、地域	テった。また 或ケアプラサ 円職から市日 計 <mark>画</mark> 21.5%	、平成30年度はで配布を行う等で配布を行う等とへの啓発の場でまた。	で 生作成した 等、供給シン を支援する 令 を 23.9%	もしも手帳」につるステムを構築したる取組の検討を行るの元年度	ういて、 た。 行った。	医療機関・診療
	中期4か年計 画の指標、想 定事業量	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門駅 ACP(人生会議)の	目的とした8区の区では、10回の区では、1	- 研修パッケー と所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい 漂 しり率 業量	ジの作成を行相談室、地域	テった。また。 或ケアプラサ 用職から市日 計画 21.5%	、平成30年度は で配布を行う等 そへの啓発の場 「策定時 (平成28年)	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した る取組の検討を ロ元年度 (平成30年)	ついて、 た。 行った。 27.0	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年)
	画の指標、想	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門町 ACP(人生会議)の	目的とした8区の区では、10回の区では、1	- 研修パッケー と所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい 漂 しり率 業量	ジの作成を行相談室、地域	テった。また。 或ケアプラサ 用職から市日 計画 21.5%	、平成30年度にで配布を行う等で配布を行う等とへの啓発の場ででは で配布を行う等と、 で配布を行う等と、 で配布を行う等と、 で配本を持たい。 で配本を持たいます。 で配本を持たいます。 で配本を持たいます。 で配本を行う等を表する。 で配本を行う等を表する。 で配布を行う等を表する。 で配布を行う等を表する。 で配布を行う等をある。 で成れを行う等を表する。 で成れを発の場では、 で成れを発している。 で成れを発している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を 1 ロ元年度 (平成30年) ロ元年度 322回	ついて、 た。 行った。 27.0	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値
	画の指標、想	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門II ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点	目的とした8区の区では、10回の区では、1	で一研修パッケー と所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい 票 取り率 業量 多職種連携事業	ジの作成を行相談室、地域	テった。また 或ケアプラサ 用職から市 E 計 は 21.5% 計 る 36	、平成30年度にで配布を行う等で配布を行う等とへの啓発の場ででは で配布を行う等と、 で配布を行う等と、 で配布を行う等と、 で配本を持たい。 で配本を持たいます。 で配本を持たいます。 で配本を持たいます。 で配本を行う等を表する。 で配本を行う等を表する。 で配布を行う等を表する。 で配布を行う等を表する。 で配布を行う等をある。 で成れを行う等を表する。 で成れを発の場では、 で成れを発している。 で成れを発している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を 1 ロ元年度 (平成30年) ロ元年度 322回	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値
事業	画の指標、想	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門II ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点	目的とした 8区の区名 機による対 考え方をで 指 相 在宅看耳 想定事	で 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ジの作成を行 相談室、地域 、 、 、 、 、 、 専門 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	テった。また。 或ケアプラサ 月職から市 E 計 E 21.5% 計 E 36	平成30年度はで配布を行う等で配布を行う等とへの啓発の場でで配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で配布を行う等といる。 で成本を行う等といる。 で成本を行う等といる。 で成本を行う等といる。 で成本を行う等といる。 で成本を行う等といる。 ではな。 ではなる。 ではな。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではなる。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門町 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点	目的とした B区の区名 機による対 大方をで 指 相 在宅看事 を等での多	で 一 研修パッケー と所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい 票 取り率 業量 ・ 平成3 362,06	ジの作成を行 相談室、地域 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	テった。また 或ケアブラサ 月職から市 E 計価 21.5% 計価 36 令利 390,	平成30年度にで配布を行う等で配布を行う等とへの啓発の場でで記事をである。 で配布を行う等と、一の啓発の場ででは、 で配布を行う等という。 で配布を行う等という。 で配布を行う等でである。 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 で配布を行う等では、 での啓発の場では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業	画の指標、想 定事業量	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門町 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考	目的とした B区の区名 機による対 大方をで 指 相 在宅看事 を等での多	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ジの作成を行 相談室、地域 べため、専門 美実施回数 30年度 67千円	テった。また 或ケアブラサ 月職から市 E 11.5% 計価 36 令利 390, 353,	平成30年度に で配布を行う等 そへの啓発の場 演策定時 (平成28年) 万策定時 (平成28年) 15年度 817千円	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額・	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門肝 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算を 支出済額 繰越額 差▲引	目的とした B区の区名 機による対 者 在 宅 事 (等 で の 多	で で で で で で で で で で で で で で	ジの作成を行 相談室、地域 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 専 門 選 実 施 回 数 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	テった。また ボケアプラザ 用職から市目 21.5% 計画 36 令和 390, 353,	平成30年度に で配布を行う等 そへの啓発の場 演策定時 (平成28年) 万年度 1元年度 817千円 698千円	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額 執行額、	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門耶 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算を 支出済額 繰越額	目的とした B区の区名 機による対 者 在 宅 事 (等 で の 多	で で で で で で で で で で で で で で	ジの作成を行 相談室、地域 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	テった。また ボケアプラサ 明職から市目 21.5% 計画 36 令和 390, 353, 0 37,	、平成30年度は で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 「 策定時 (平成28年) 「策定時 0回/年 1元年度 817千円 698千円	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額・	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門所 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算額 乗越額 差▲引 執行率(%)	目的とした B区の区名対 考え方を 指 在宅 事 (等での 多	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ジの作成を行 相談室、地域 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	テった。また。 ボケアプラサ 明職から市目 21.5% 計画 36 令和 390, 353, 0 37,	、平成30年度はで配布を行う等で配布を行う等で配布を行う等で配布を行う等でで配布を行う等でででででである。 1策定時 (平成28年) 1策定時 (17年度 17年度 17年度 17年度 17年月 179千円 179年円 179年 179年 179年 179年 179年 179年 179年 179年	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額、 事業費の	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門所 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算額 乗越額 差▲引 執行率(% 人	目的とした。 日的とした。 日的とした。 日本の一方では、	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ジの作成を行 相談室、地域 、くため、専門 変実施回数 80年度 67千円 54千円 671円 0%	テった。また。 ボケアプラサ 明職から市目 21.5% 計画 36 令和 390, 353, 0 37,	、平成30年度は で配布を行う等 で配布を行う等 (平成28年) 万年度 1元年度 817千円 698千円 千円 191%	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額、 事業費の	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門肝 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算額 乗越額 差▲引 執行率(% 人	目的とした。日的とした。日的とした。日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	で 一研修パッケー と所、在宅医療 話促進事業 市民に伝えてい 標 取り率 業量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ジの作成を行 相談室、地域 、くため、専門 変実施回数 80年度 67千円 54千円 7円 80%	テった。また。 ボケアプラサ 引職から市目 21.5% 計画 36 令和 390, 353, 0 37,	、平成30年度は で配布を行う等 で配布を行う等 そへの啓発の場 「策定時 0回/年 1元年度 817千円 698千円 千円 191% 2.5人	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額、 事業費の	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門肝 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算額 乗越額 差▲引 執行率(% 人 一般職職件 件工	目的とした。日的とした。日的とした。日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	 一研修パッケーと所、在宅医療、 活促進事業 市民に伝えてい 深 取り率 業量 ・ 平成3 362,06 325,26 0 千 36,81 90 2.6 0.0 21,96 	ジの作成を行 相談室、地域 いくため、専門 等実施回数 30年度 67千円 54千円 5人 00%	テった。また。 ボケアプラサ 引職から市目 21.5% 計画 36 令和 390, 353, 0 37,	、平成30年度は で配布を行う等 で配布を行う等 そへの啓発の場 源策定時 (平成28年) 河策定時 0回/年 817千円 698千円 19千円 191% 2.5人	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額、 事業費の	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門耶 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算額 麦山済額 差▲引 執行率(% 人 一般職職 供 再任用職 概算人件 総事業引	目的とした。日的とした。日的とした。日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	 一研修パッケーと所、在宅医療、 活促進事業 市民に伝えてい 深 取り率 業量 ・ 平成3 362,06 325,26 0 千 36,81 90 2.6 0.0 21,96 	ジの作成を行 相談室、地域 いくため、専門 美実施回数 30年度 67千円 54千円 5人 00% 5人 0人 33千円	テった。また。 ボケアプラザ 引職から市目 21.5% 計画 36 令和 390, 353, 0 37, 21, 375,	平成30年度は で配布を行う等 で配布を行う等 そへの啓発の場 万策定時 (平成28年) 万年度 817千円 698千円 千円 119千円 91% 2.5人 0.0人 963千円 661千円	で を を を を を を を を を を を を を	もしも手帳」に ステムを構築した 5取組の検討を行 0元年度 (平成30年) 0元年度 322回 回(2か年)	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 50回(4か年)
業実	画の指標、想 定事業量 予算額、 事業費の	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門肝 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算額 麦出済額 繰越額 差▲引 執行率(% 人 一般職職 件 費 概算人件	目的とした 日的ののよう方 指看事 の切り は、の切り関	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ジの作成を行 が、	テった。また。 ボケアプラザ 引職から市目 21.5% 計画 36 令利 390, 353, (1) 21, 375, 28, 業として、平 ない業務と 6体制の構勢	平成30年度は で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 (平成28年) 万策定時 0回/年 817千円 698千円 千円 119千円 91% 2.5人 0.0人 963千円 661千円 444千円 を図っている。	で で で で で で で で で で で で で で	もしも手帳」にステムを構築した ステムを構築した 5取組の検討を行 1元年度 (平成30年) 1元年度 322回 3(2か年) 12年度 12年度 法の地域支援害 対の医療・介護道 成の医療・介護道	ついて、 た。 行った。 27.0 1,5	医療機関・診療 目標値 0%(令和2年) 目標値 550回(4か年) 令和3年度 な置づけられてい 携拠点を軸とし 能進するには、村
業実	画の指標、想 下執事業 第行費 第額額の 本市が行う	及啓発と人材育成を 所・薬局等に加え、1 (7)市民・患者・専門所 ACP(人生会議)の 在宅医療連携拠点 備考 現計予算額 麦▲引 執行率(% 人 一般職職 概事業 増▲減 在宅医療連携拠点 を を を を を を を の の の に の の の に の の の の の の の に の の の の の の の の の の の の の	目的とした名かを は 年 2 年 3 年 3 年 4 年 2 年 3 年 4 年 5 年 5 年 5 年 6 年 7	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ジ相	テった。またすでで、またすでで、またすでで、またすででで、またずができませる。 またず はいまれる また はいまれる はいままる はいまない	、平成30年度は、 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を行う等 で配布を発の場 で配布を発の場 で配布を発の場 で配布を発の場 を15年度 817千円 698千円 1918 2.5人 2.5人 2.0人 963千円 661千円 444千円 で成27年4月よります。 では、こう人材の養成、 「在宅医療連携	で で で で で で で で で で で で で で	もしも手帳」について、2025年には、2	ついて、 こ。 行った。 27.0 1,5 1,5 三 素療推進 に連携を推進 に向け	国標値 19%(令和2年) 目標値 19%(令和2年) 150回(4か年) 令和3年度 立ちいた。 ではいるには、大きには関する事業 で、、市民の在宅

l Z		
る点検・検証・評価	市民等外部 意見を聴取 する仕組みと 反映状況	■有 □無 在宅医療連携拠点の運営については、医療局職員、区職員が在宅医療連携拠点の運営会議(事務局会議等)をはじめとした各種会議に出席し、在宅医療連携拠点事業の課題等について把握できるように努めている。拠点事業については、今後も横浜市医師会や各区医師会と協議をしながら事業を展開していく。また、在宅療養連携推進協議会を開催し、市内の保健・医療・福祉等の有識者の方々からいただいた意見を、医療局の各所管課、健康福祉局内の在宅医療に係る担当課で共有することで、現場の意見を施策へ反映させている。さらに、在宅療養移行支援事業、人生の最終段階の医療に関する検討・啓発事業では、事業推進にあたり検討会や作業部会を設け、外部の識者から、現場の意見を積極的に取り入れるとともに、翌年度以降の事業を検討する際にも活用している。移行支援事業では、実態調査を毎年度行っており、調査結果を、医療局で独自に作成した「入院時・退院時情報共有ツール」や「介護職のための看取り期の在宅療養サポートマップ」の作成・改訂にも活用している。
	自己評価や 外部意見を 踏まえた 事業見直し の方向性	令和元年度に構築した、在宅医療連携拠点での相談支援体制を今後も効果的・継続的に運用していくため、横浜市医師会とも協議をしながら、令和3年度に向けて事業の見直しを行っていく。また、在宅での看取りを選択できる市民が増えること、それに対応する医師や医療・ケアチームの体制を十分に整えることが課題となっているため、国の動向等を確認しながら、地域や世代に合った方法で、ACP(人生会議)の考え方を医療・介護専門職が正しく理解し、市民に伝えていく体制を確立し、多職種の資質向上や連携の強化を図れるような事業を展開していく。
		在宅医療と介護が切れ目なく継続的に提供される体制の構築を推進するため、本事業では、(1)医療・介護連携の強化、(2)

中期4か年計画の 目標・方向性を踏まえた 具体的な成果や課題

在宅医療と介護が切れ目なく継続的に提供される体制の構築を推進するため、本事業では、(1) 医療・介護連携の強化、(2) 在宅医療に関わる人材の確保・育成、(3) 在宅医療の普及啓発の3つの柱をテーマとして、各事業を展開してきた。中期4か年計画の指標で定めた、「在宅看取り率」を向上させるためには、在宅での看取りを選択できるような市民・家族を増やす啓発とともに、地域で在宅医療を担う医師や訪問看護師等、ケアチームの体制を支援していくことが求められており、今後も、18区の在宅医療連携拠点を中心として、各種事業を継続して行っていく。なお、令和元年度は、在宅医療拠点等での事例検討会、多職種連携会議、在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修を、18区で、のべ322回開催し、多職種の連携強化や資質向上に努めてきた。また、人生の最終段階での医療やケアの発については、令和2年度から、介護保険被保険者証の送付時に「もしも手帳」の案内チラシを同封するなど周知を拡大するとともに、ACP(人生会議)についての啓発活動を行う人材の養成のため、医療・保健・福祉従事者に対する研修等の事業を実施する予定である。

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	西野 均	山口 泰弘	髙橋 翔太